令和六年 新春 丸岡城

元朝吉祥

1月14日(日)

9:45～ 出陣
【城のまちコミュニティセンター】

10:00～ 丸岡藩有馬家鉄砲隊
（越前火縄銃保存会）による
火縄銃演武【お天守前広場】

11:30 演武終了

大雪・悪天候の場合、内容を変更することがあります

安全確保のため、鉄砲隊から離れた場所からの観覧をお願いいたします。

元朝吉祥図

丸岡藩絵師（？～1847）伊星双岳の絵図（丸岡霞城御吉祥の図）をもとに志田弥広画伯が描く。

丸岡藩国表大手門前 元朝 吉祥之図について

かって丸岡藩有馬家では、国表（くにおもて）の大手門前にて、元旦の明け六ッ時「午前六時頃」の時太鼓打ち切りを合図に、火縄銃による祝砲を五発、西の方に向け打ち放す式を行いました。これを「吉祥（きっしょう）」と云い、他国に比類なき嘉例とされてきました。

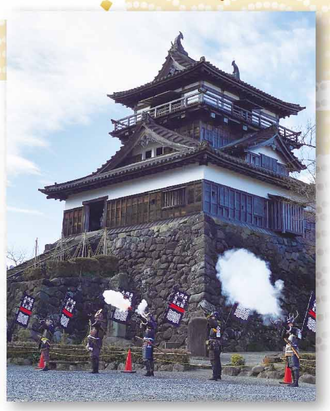
この式の起源は、有馬家十五代、左衛門佐直純（さえもんのすけなおずみ）公〔日向国延岡藩主〕が大坂冬の陣〔慶長十九年十月～十二月〕に出陣し、延岡へ帰陣の折、瀬戸内海の船の中にて越年せし時行ったのが始まりと云われ、以後、御家大事、戦勝祈願を込めて元朝の儀式として伝えられました。

有馬家の御軍法鎮西備の事に五十発と記されていますが、略して五発としたものと思われます。

また、一月七日の藩中の稽古初めにも同じ場所にて十七発を放ちました。

元治二年（一八六五年）元旦、丸岡藩城主（道純公）自ら長州征伐出陣の時にも、出雲国松江領竹屋村安国寺の陣屋にて、この儀式を行なった記録があります。

当時の丸岡城下の民歌に「とん、とん、とんと、ととん、となって、とん、ととんと、一万石の御加増なり」とあります。



※画像はイメージです

主催：（一社）丸岡城天守を国宝にする市民の会
お問い合わせ：丸岡バスターミナル交流センター　TEL 0776-50-3084
Mail maruokabusta@vesta.ocn.ne.jp

※天候に応じて中止・変更にする場合があります。　中止の際は右記インスタグラムを通じてお知らせ致します。

MARUOKABUSTA